

平成28年度

第1回学校力向上に関する総合実践事業アドバイザー派遣事業

□期 日 平成28年5月10日(火)

□会 場 名寄市立名寄小学校 音楽室

□講 師 学校力向上に関する総合実践事業アドバイザー

上越教育大学教職大学院教授 赤坂真二氏

□当日の様子(抜粋)

●公開学級 5年1組 (齋藤 一樹 教諭)

昨年度に引き続き、名寄小学校では、学級経営に重点を置き、学級目標の実現を目指す学級づくりに教職員が一体となって取り組んでいます。具体的には、教育活動の各場面において、教師が子どもの発言や行動の様子をきめ細かく観察し、必要に応じて、子どもたちが学級目標を意識するような言葉を意図的に投げかけたり、子どもの発言や行動を認め、励ましたりするなど、全教職員がベクトルを揃えた取組を推進しています。



◆3校時 道徳 主題名「長所を伸ばす」(個性伸長1-(6))

資料名「漫画家になろう～手塚治虫～」

道徳の授業では、齋藤教諭が子どもたちに投げかけた「勇気づけのことば」や「目標を意識させる言葉」は実に55回にも及びました。

◆4校時 算数「体積」

算数の授業では、指導案に赤坂教授から提示された「集団づくり力アップのための20ポイントチェック」を位置付け、子ども同士が関わる機会を設定するなど、本時の目標達成と学級目標実現を意識した指導を心がけていた。

●事後研(ワークショップ)

赤坂教授と齋藤教諭の対話を全教職員が聞き、学級経営についてみんなで学びを深めるスタイルで行った事後研では、「安心できる空気や行動はどんなものなのか、子どもたちはどのように理解していますか？」という赤坂教授の問いかけにより、改めて学級経営のあり方を問い直す研究協議となりました。

特に、進行役の増田教諭(採用4年目)が、授業者の齋藤教諭が現在抱えている不安や悩みについて、全教職員が自分事として受け止め、解決に向けて共に悩み合うような雰囲気を作るなど、学校力向上の実践指定校として取り組んできた「人材育成」の成果が表れていた場面でもありました。

●教育講演会

講演題 「協同力を高める教師のリーダーシップ」

講演の概要

- チームとは、一人ではできない課題について、良好な関係性を築きながら解決する集団のことである。成果を上げている集団は、かかわり合い、つながり合い、育て合っている。共に心と力を合わせて助け合って仕事をする「協同」によって一人一人がつながることができる。
- 教師は、日々の忙しさの中にあっても、「子どもたちの幸せ」に向き合う勇気とゆとりをもつことが大切である。
- 学校は、学習規律の徹底や温かな雰囲気の醸成と、学級全員が課題を解決することができる交流型の学習の両方に取り組むことが大切である。

